

# 栃木県支部便り (辟雍会通信第8号)

## 1 辟雍会栃木県支部大会の開催について

コロナ感染状況が もう少し 落ち着くまで 支部大会の開催を 延期します。

## 2 辟雍会次期会長 決まる

東京学芸大学辟雍会会長候補者推薦規則に則り、  
下記のとおり、会長候補者推薦委員会から次期会長候補者の推薦がありました。

推薦された次期会長候補者: 長谷川 正

郵便による選挙【投票】の結果は次の通り:

送付数 31, 回答数 28。うち賛成するもの 28、反対するもの 0、棄権・無効 0。  
以上により、辟雍会理事会は、辟雍会次期会長に 長谷川 正氏 を選考した。

## 3 栃木県の新型コロナウイルスの感染者数と死者数 (2月25日現在) 次の通り:

累計感染者数	43,489 人
1日新規感染者数(2月25日)	616 人
累計死亡者数【2月25日】	176 人

今後とも 私たちは 感染予防に 最大限の注意を払いましょう。

## 4 栃木県住み心地ランキング

第1位 宇都宮市、2位は大田原市、3位は下野市、4位は壬生町、5位は小山市だった。

## 5 北関東住み心地ランキング

1位は「群馬県桐生市(きりゅうし)」。2位は「茨城県守谷市」、3位には「栃木県佐野市」

## 6 栃木県の高校について

「今後の望ましい県立高校の在り方について 提言」 から的一部 抜粋

### 学科の構成と配置の適正化について

○ 普通系学科と職業系専門学科の募集定員の割合については、中学生の進路希望状況や私立高校の学科構成等を考慮し、現在の比率を概ね維持することが望ましい。

○ 職業系専門学科の各学科の構成については、産業構造や就業構造、社会のニーズ の変化に対応する観点から検討することが望ましい。ただし、社会的要請が高まっている介護、看護、情報分野については、求められる知識・技能が高度化するなど、高校教育での人材育成には限界があることから、学科の設置や拡充以外での対応も 含め検討することが望ましい。例えば、介護分野については、高等教育機関で専門 的知識・技能を修得することを視野に入れて、高校では総合学科や普通科の類型注6 など で当該分野の基礎を学ばせるなどの対応が考えられる。

○ 将来の生徒数減少に対し、職業系専門学科の学級減や学科再編を行う際には、各 地域で農業、工業、商業など各学科の教育を受ける機会が確保されるよう、通学圏 を十分に考慮して配置の適正化に努めることが望ましい。